

特別調査事項として、新規学卒者の採用予定について県内中小企業に聞いたところ、次のような結果となった。

平成22年4月に新規学卒者を採用する県内中小企業は、全体としては11.4%であり、前年と同じ過去最低の数値となった。

製造業は15.8%で前年比1.8ポイント上昇、5年ぶりに増加したものの、非製造業は8.2%で前年比1.0ポイント低下、2年連続で減少した。

前年と比べた採用人数は、38.0%の企業が「増えた」としており、前年調査結果よりも3.6ポイント増加した。

「増えた」と回答した企業は、製造業が38.4%で前年比5.8ポイント増加し、非製造業(37.3%、前年比0.7ポイント増加)に比べ増加幅が大きかった。

採用する理由は、「年齢構成の適正化」(49.7%)が最も多く、次いで「定年退職者等の補充」(30.2%)、「特定部門の強化」(20.1%)となっている。

前年調査結果と比較すると、「年齢構成の適正化」が6.3ポイント増加した。特に非製造業では16.9ポイント増加した。

一方、「特定部門の強化」は非製造業において14.9ポイント減少した。

採用しない理由は、「現状の雇用者数が適正・過剰」(45.6%)が最も多く、次いで「業務量の減少・事業の縮小」(36.7%)となっている。

前年調査結果と比較すると、「中途採用(即戦力)で対応」及び「非正社員(パート、派遣等)で対応」は共に1.9ポイント増加したが、「業務量の減少・事業の縮小」は4.6ポイント減少した。

(1) 新規学卒者の採用予定(平成22年4月の正社員採用)について

「採用予定あり」 11.4% 「採用予定なし」 88.6%

(2) 前年と比べた採用人数 【採用予定ありの企業】

「増えた」 38.0% 「変わらない」 41.0% 「減った」 21.1%

(3) 採用する理由(複数回答) 【採用予定ありの企業】

「年齢構成の適正化」 49.7% 「定年退職者等の補充」 30.2%
 「特定部門の強化」 20.1% 「業務量の増加・事業の拡大」 19.5%
 「その他」 7.1%

(4) 採用する部門(複数回答) 【採用予定ありの企業】

「生産部門」 67.3% 「営業(販売)部門」 30.3%
 「研究開発部門」 13.3% 「一般事務部門」 9.1%
 「管理部門」 4.2%

(5) 採用しない理由(複数回答) 【採用予定なしの企業】

「現状の雇用者数が適正・過剰」 45.6% 「業務量の減少・事業の縮小」 36.7%
 「中途採用(即戦力)で対応」 17.2% 「非正社員(パート・派遣等)で対応」 13.9%
 「定年退職者の再雇用で対応」 8.7% 「その他」 4.0%

本文中の数値については、グラフの他、アンケート調査集計表(44頁以下)を参照してください。

(1) 新規学卒者の採用予定 (集計表P44参照)

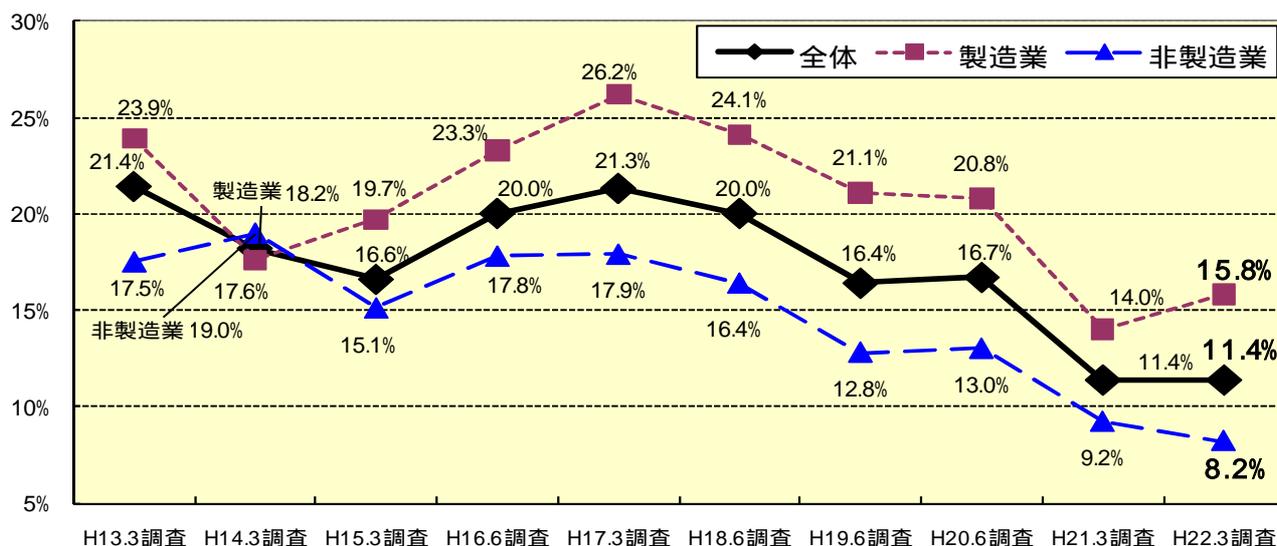
平成22年4月の新規学卒者の採用について、「予定あり」とする企業は、前年3月調査と同じ11.4%だった。今年度も多くの県内中小企業が、新規学卒者の採用を抑制している。

なお、当調査は平成13年から実施しているが、前年と同じく過去最低の数値となった。

業種別にみると、製造業は15.8%で、前年よりも1.8ポイント上昇し、5年ぶりに増加した。

一方、非製造業は8.2%で前年よりも1.0ポイント低下し、2年連続で減少した。

新規学卒者の採用予定



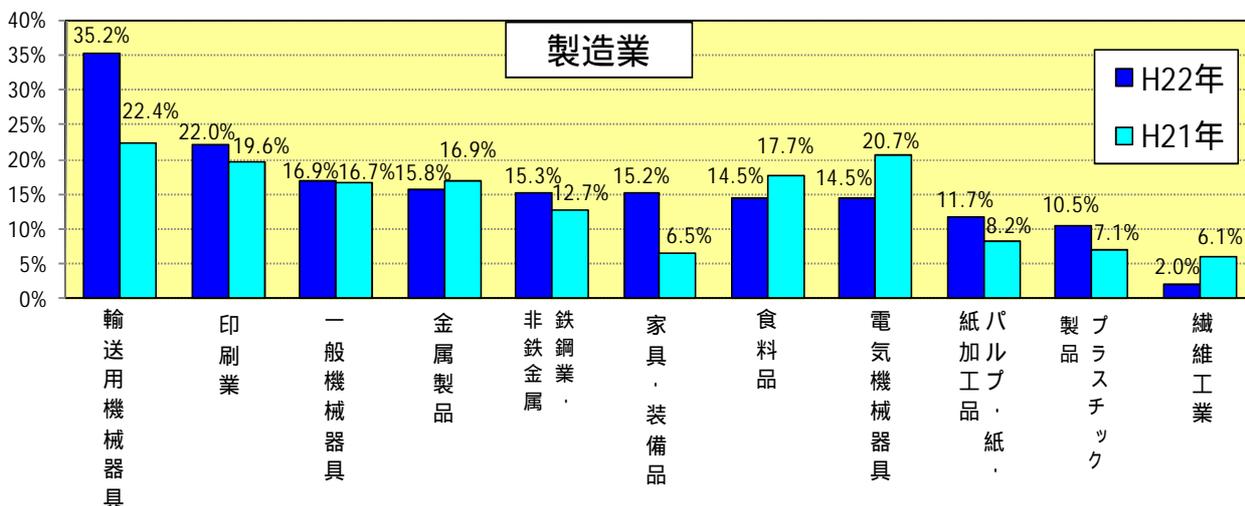
業種別の内訳(下グラフ)をみると、製造業では「輸送用機械器具」(35.2%)が最も多く、次いで印刷業(22.0%)、一般機械器具(16.9%)と続いている。

前年との比較では、「輸送用機械器具」(12.8ポイント増)、「家具・装備品」(8.7ポイント増)など、11業種中7業種が前年よりも増えた。

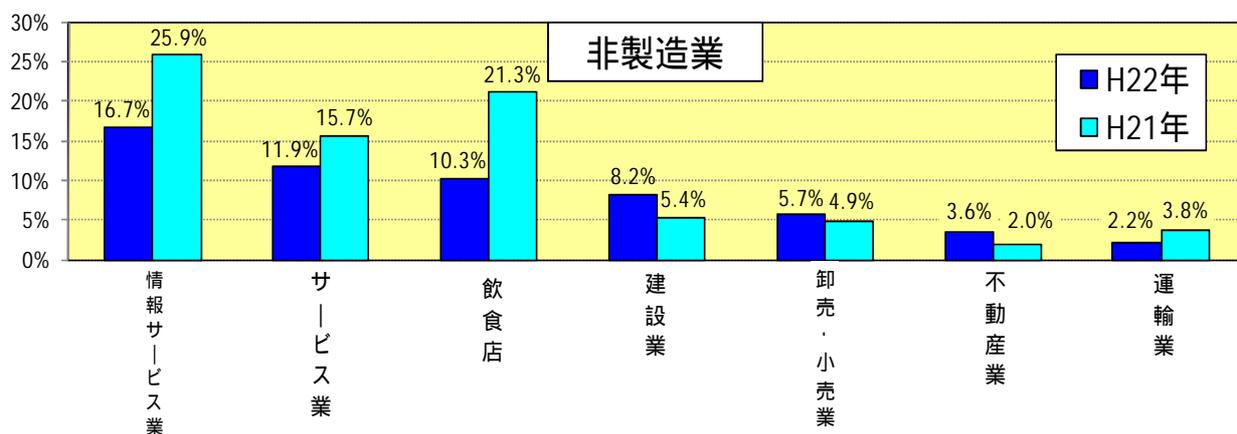
非製造業では、「情報サービス業」(16.7%)が最も多く、次いでサービス業(11.9%)、「飲食店」(10.3%)と続いている。

前年との比較では、「飲食店」(11.0ポイント減)、「情報サービス業」(9.2ポイント減)など、7業種中4業種が前年よりも減った。

新規学卒者の採用予定<製造業>(業種別)



新規学卒者の採用予定<非製造業>（業種別）



（２）前年と比べた採用人数【採用予定ありの企業】（集計表P45参照）

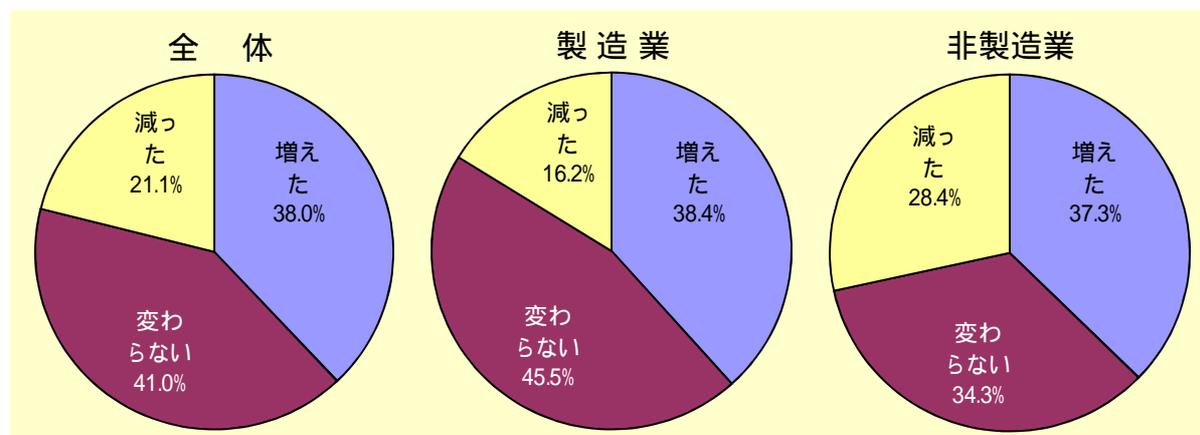
（１）で、「採用予定あり」と回答した企業に、前年と比べた採用人数の増減を聞いたところ、38.0%の企業が「増えた」としている。

前年調査結果と比較すると、「増えた」とする企業は3.6ポイント増加し、「減った」とする企業は3.3ポイント減少した。

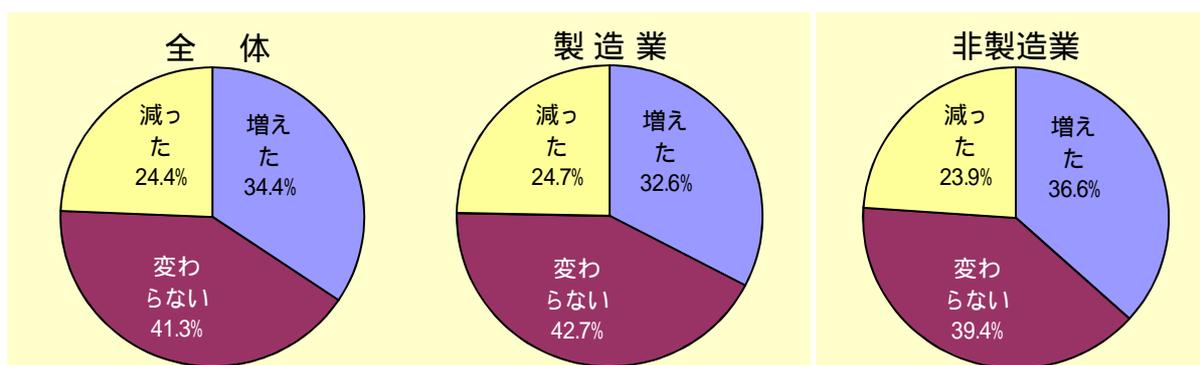
業種別にみると、製造業は「増えた」が38.4%で前年調査結果よりも5.8ポイント増加、「減った」は16.2%で8.5ポイント減少した。

非製造業は「増えた」が37.3%で前年調査結果よりも0.7ポイント増加、「減った」は28.4%で4.5ポイント増加した。

前年と比べた採用人数【採用予定ありの企業】



<参考> 前年度調査結果（H21年3月調査）



(3) 採用する理由【複数回答】(採用予定ありの企業)(集計表P46参照)

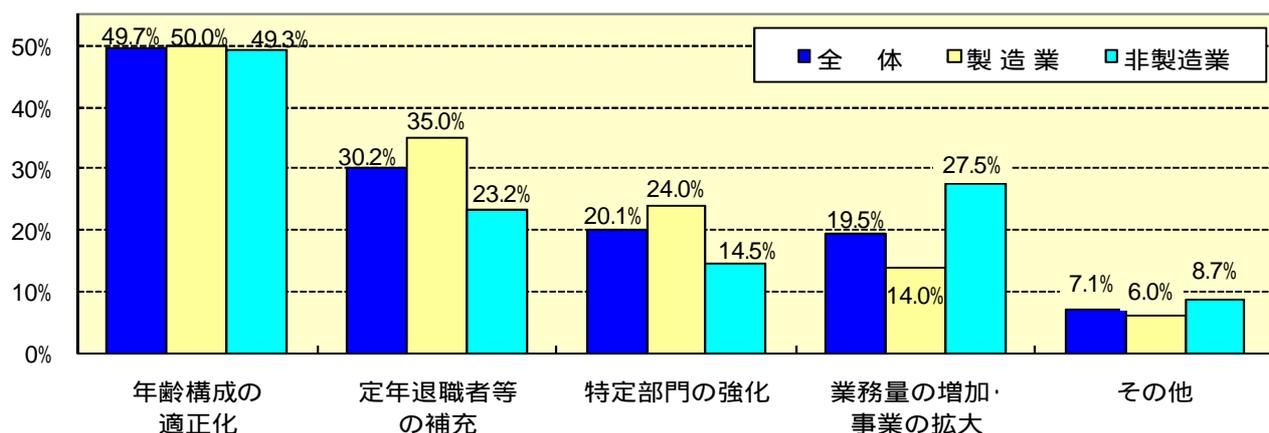
(1)で、「採用予定あり」と回答した企業に、採用する理由を聞いたところ、「年齢構成の適正化」(49.7%)が最も多く、次いで「定年退職者等の補充」(30.2%)、「特定部門の強化」(20.1%)となっている。

前年調査結果と比較すると、「年齢構成の適正化」(6.3ポイント増)、「定年退職者等の補充」(2.6ポイント増)及び「業務量の増加・事業の拡大」(1.7ポイント増)は前年よりも増加したが、「特定部門の強化」(3.6ポイント減)は前年よりも減少した。

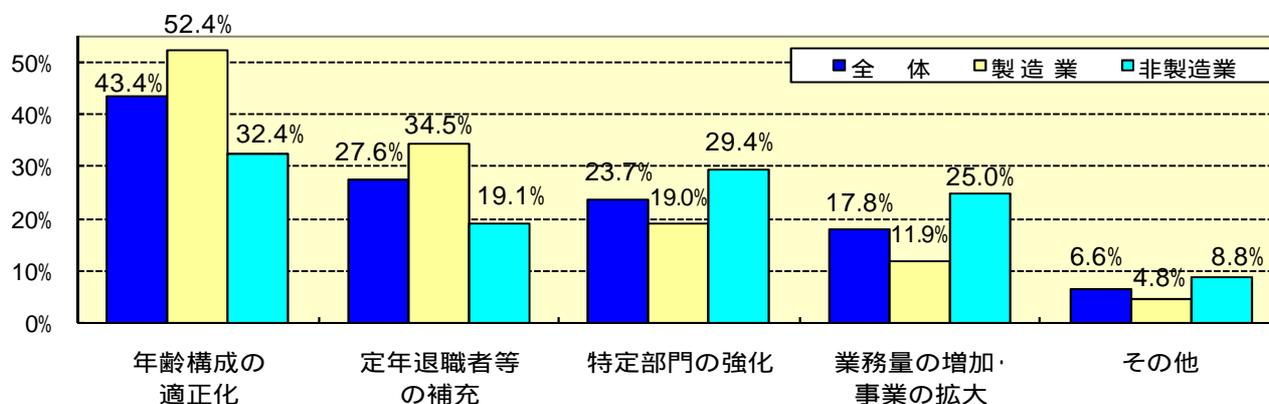
業種別にみると、製造業は、「年齢構成の適正化」(50.0%)、「定年退職者等の補充」(35.0%)、「特定部門の強化」(24.0%)、「業務量の増加・事業の拡大」(14.0%)の順だった。前年との比較では、「特定部門の強化」が5.0ポイント増加した。

非製造業は、「年齢構成の適正化」(49.3%)、「業務量の増加・事業の拡大」(27.5%)、「定年退職者等の補充」(23.2%)、「特定部門の強化」(14.5%)の順だった。前年との比較では、「年齢構成の適正化」は16.9ポイント増加したが、「特定部門の強化」は14.9ポイント減少した。

新規学卒者を採用する理由【複数回答】(採用予定ありの企業)



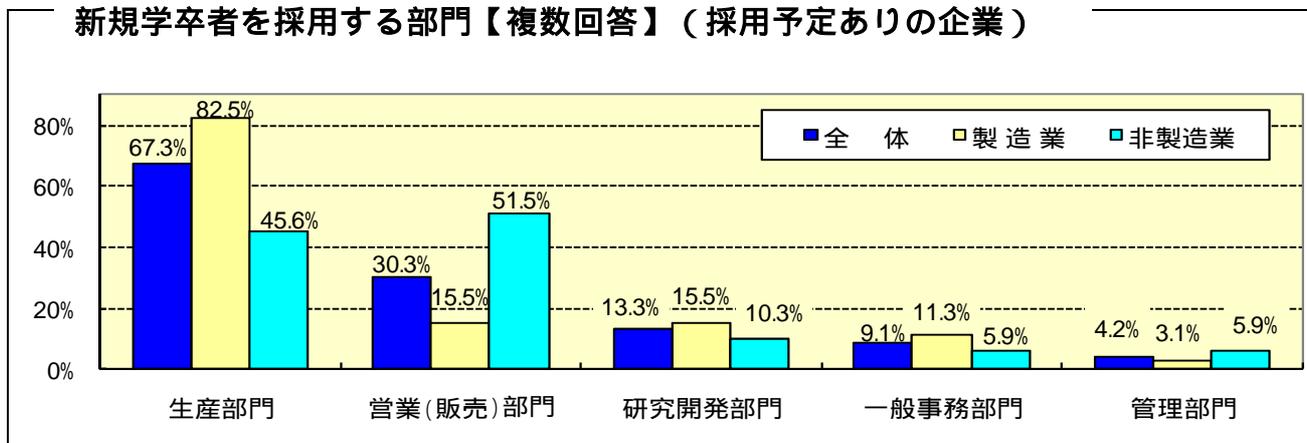
<参考> 前年度調査結果(H21年3月調査)



(4) 採用する部門【複数回答】(採用予定ありの企業) (集計表P47参照)

(1)で、「採用予定あり」と回答した企業に、採用する部門を聞いたところ、「生産部門」(67.3%)が最も多く、次いで「営業(販売)部門」(30.3%)、「研究開発部門」(13.3%)となっている。

新規学卒者を採用する部門【複数回答】(採用予定ありの企業)

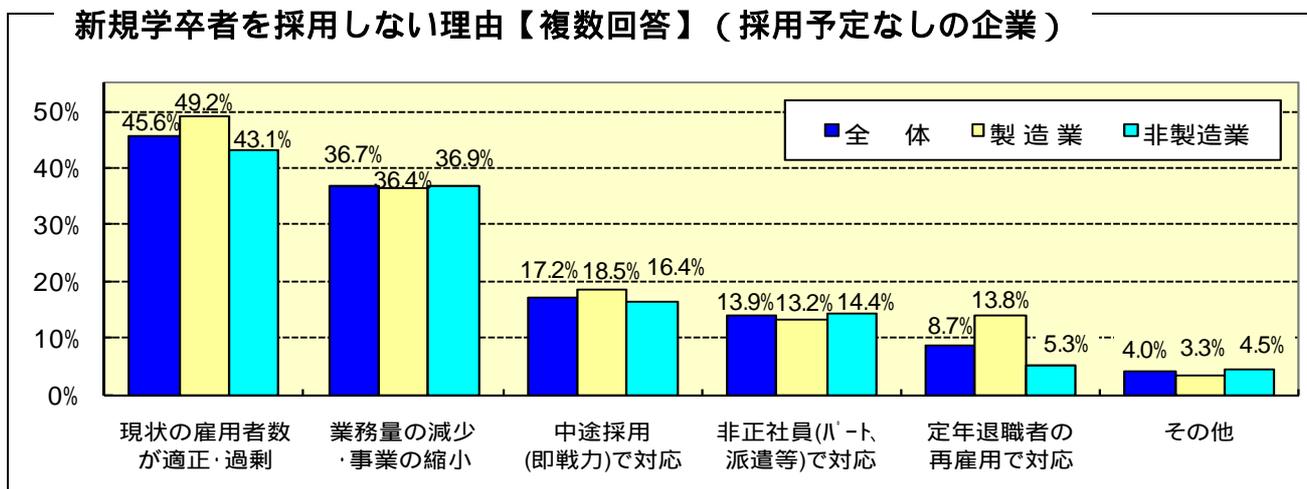


(5) 採用しない理由【複数回答】(採用予定なしの企業) (集計表P48参照)

(1)で、「採用予定なし」と回答した企業に、採用しない理由を聞いたところ、「現状の雇用者数が適正・過剰」(45.6%)が最も多く、次いで「業務量の減少・事業の縮小」(36.7%)となっている。

前年調査結果と比較すると、「中途採用(即戦力)で対応」及び「非正社員(パート、派遣等)で対応」は共に1.9ポイント増加したが、「業務量の減少・事業の縮小」は4.6ポイント減少した。

新規学卒者を採用しない理由【複数回答】(採用予定なしの企業)



<参考> 前年度調査結果(H21年3月調査)

